

南魚沼版CCRC構想 まちづくりアイデア募集

実施状況報告

審査前のため、開示できない情報があることをご了承ください

2016.10.12



株式会社 山下ピー・エム・コンサルタンツ
Yamashita PM Consultants Inc.

マスター・スケジュール

	平成28年 (2016)						平成29年
	7	8	9	10	11	12	1
マスター スケジュール	連携実施事業者選定の公募			連携実施事業者選定選定		▼11月末選定完了	
アイデア募集		募集準備	募集	審査・ヒアリング▼審査会・発表			
CCRC推進協議会		7/27 ▼CCRC推進協議会		10/12 ▼CCRC推進協議会		11/30 ▼CCRC推進協議会	
セカンドライフ塾			▼8/27 ▼9/16 第1クール	▼10/3 ▼10/8			
CCRC連携実施 事業者選定 支援業務	CCRC連携実施事業者 選定支援業務						
	業務の進め方 検討	事業者選定方法 検討		事業者選定			
地域再生計画 策定業務	地域再生計画 策定業務			計画書 ▼提出			
	情報収集・整理 課題整理	計画立案	作成	生涯活躍のまち形成事業計画作成		計画書まとめ	

アイデア募集の概要（募集要項より）

A: 夢づくり部門

どなたでも(子供でも大人でも)応募できます。

- ・みんなが仲良く暮らせるまち
- ・よそのまちからたくさんの方が移り住んでくれるまち
- ・移り住んだ人たちと一緒に、活気があるまち

B: 事業づくり部門

事業全体の枠組みづくり・事業性など全体的な視点からの提案だけでなく、新たなコミュニティ向けサービスなどに範囲を限定した提案まで、幅広く募集します。

C: まちづくり部門

雪国に適した快適な住環境、地元産材の活用などを考慮した中で、地域の景観と調和し、地域に開かれたコミュニティを形成することで、移住者にとっても地域住民にとっても魅力的なまちづくりに向けた提案を募集します。

8月26日(金) プレス発表 応募開始

8月30日(火) 東京説明会開催 13社20名出席(うち1名報道関係)

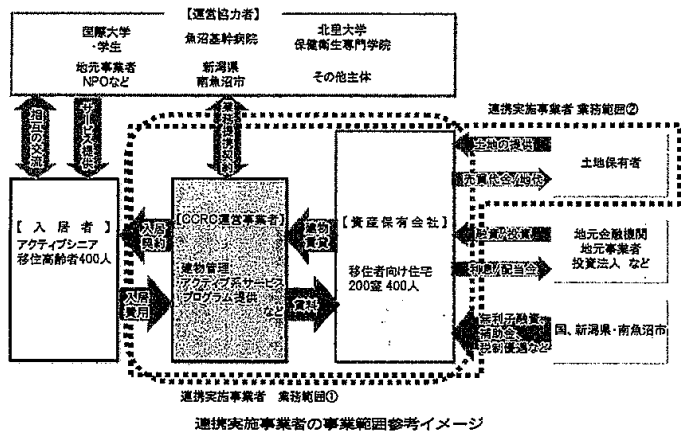
9月 6日(火) 浦佐説明会開催 15名出席

9月27日(火) 浦佐小学校ワークショップ開催 (6年生39名)

9月30日(金) 応募締切

企業提案が地域の未来に

南魚沼版CCRC構想が本格化



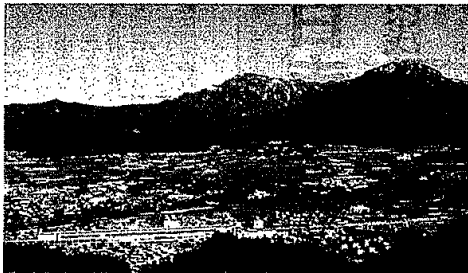
連携実施事業者の事業範囲参考イメージ



「事業（BVA）」 「地方（BVA）」の部門。各部門には「BVA」の要素を盛り込み、運営特別優待などを提供し、そのほかの提案は、専任のコーディネーターが、事業（BVA）の作成をサポートしている。

新潟県南魚沼市が「南魚沼版CCRC」（生活圏層のまち）構想の実現に向け、民間企業から「BVA」募集を進めていく。8月30日に都庁で開かれた開会式に、大手ゼネコンや「インシニア」など数社が参加した。事業スキームの構築段階から、民間の知恵を取り込み、試みでもあり。課題解決型の地方創生を目指す取り組みは、他の地方自治体からも注目を集めてきた。

新たな産業と雇用創出を目指す



事業の川上段階から民間の知恵を取り入れる

10月下旬に最優秀賞決定

の提案者(優勝候補)が、施設は連携実施事業者として、施設の設計・施工、運営などに関する契約を結ぶ方針だ。事業とまちづくり部門でも個人、グループ、企業、団体での応募が可能。ただ、まちづくり部門は建築、都市計画に精通した専門家が想定している。事業（BVA）部門は提案例として「ドミニアム向け住宅（BVA）」の整備、維持管理に力を入れる。収入計画は同住宅の生活支援サービスも提供する。インシニアは「ミニシニア」と地域住民との新たなコミュニティを形成するための「生活支援サービス」などを利用した金銭商品の提案などを行う。

一方、まちづくり部門は計画に適した快適な住環境、地元産材の活用、パリアフリー対応、周辺の計画を考慮した地域に開かれた「移住者」にとって魅力的な施設の実現に向け、設計計画や図版・インシニア・配置図・平面図、断面図、立面図、構造写真など)を提示する。部門の「BVA」は30日まで受け付けている。締切は10月下旬にも公表する。井口氏も「同市は『当市でもBVA』事業構築を進めていく」と強調する。南魚沼版CCRC構想は、CCRCの機軸を踏襲した上で、単なる高齢者向け施設の整備にとどまらず、インシニア・ミニシニアを主体とした「BVA」が「地域」に新たな産業と雇用の創出を目指す。交通入口の増加、エネルギーの効率的な利用など広範囲な効果が期待され、新たな「ミニシニア」の形成、地方創生にも寄与するとしている。

対象エリアは、上越新幹線浦佐駅、開道自動車道大和スマートインターチェンジ、国際衛生保健専門学校、北里大保健衛生専門学校、国際情報高、八色の森公園などを含む1体系地。高速鉄道、高速道路との接続性を生かし、当市は大都市からのアクセス(1時間以内)を想定。移住者向けサービス。それと併せて、インシニア・ミニシニアの活用。期間については、10月15日～12月31日までの期間を想定。全面的に「BVA」を推進していく。

同構想連携実施事業者選定支援業務は「山下ピーエム・コンサルタンツ」が担当している。

応募数結果 (速報)

A: 夢づくり部門

144 案

B: 事業づくり部門

14 案

C: まちづくり部門

12 案

今後、事務局による予備審査により集計が変動する可能性があります



スポーツで元気になる町 南魚沼
テーマ 地域の人々、
全国のたくさんの人が交流し、スポーツによって活気が

- | 施設 | スポーツ | 地域の人々 |
|------------|---------|---------|
| アイススケートリンク | アイススケート | 総合体育館 |
| ソフトバレーボール | バレーボール | コロシアム |
| サッカー | サッカー | スポーツ |
| ラグビー | ラグビー | バスケボール |
| バドミントン | バドミントン | バスケボール |
| テニス | テニス | 障害者の交流 |
| ゴルフ | ゴルフ | でこのスポーツ |
| 水泳 | 水泳 | 室内ホール |

A: 夢づくり部門

144 案

↑

からの大和地区
地元でもらう
ホームステイ 自由
農業体験が中心
紹介ビデオ
ポスター制作
交流促進

学校同士で交流
(東海大学と北越大学)
農業生の大学 最終主
修

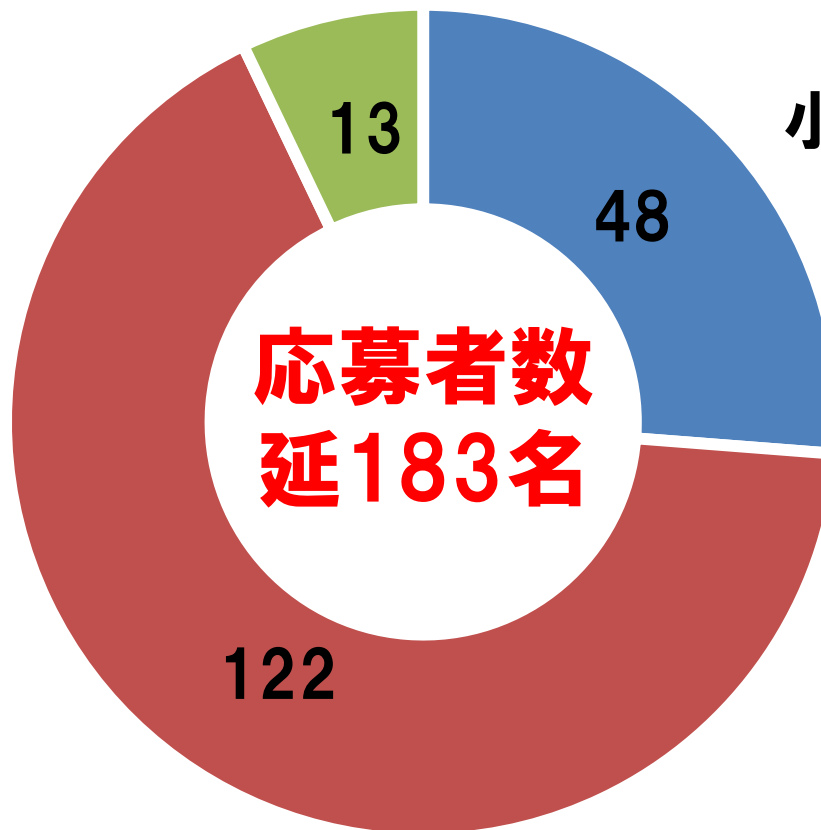


応募結果の概要

A: 夢づくり部門

一般・企業

応募者属性



小学校低学年

小学校高学年

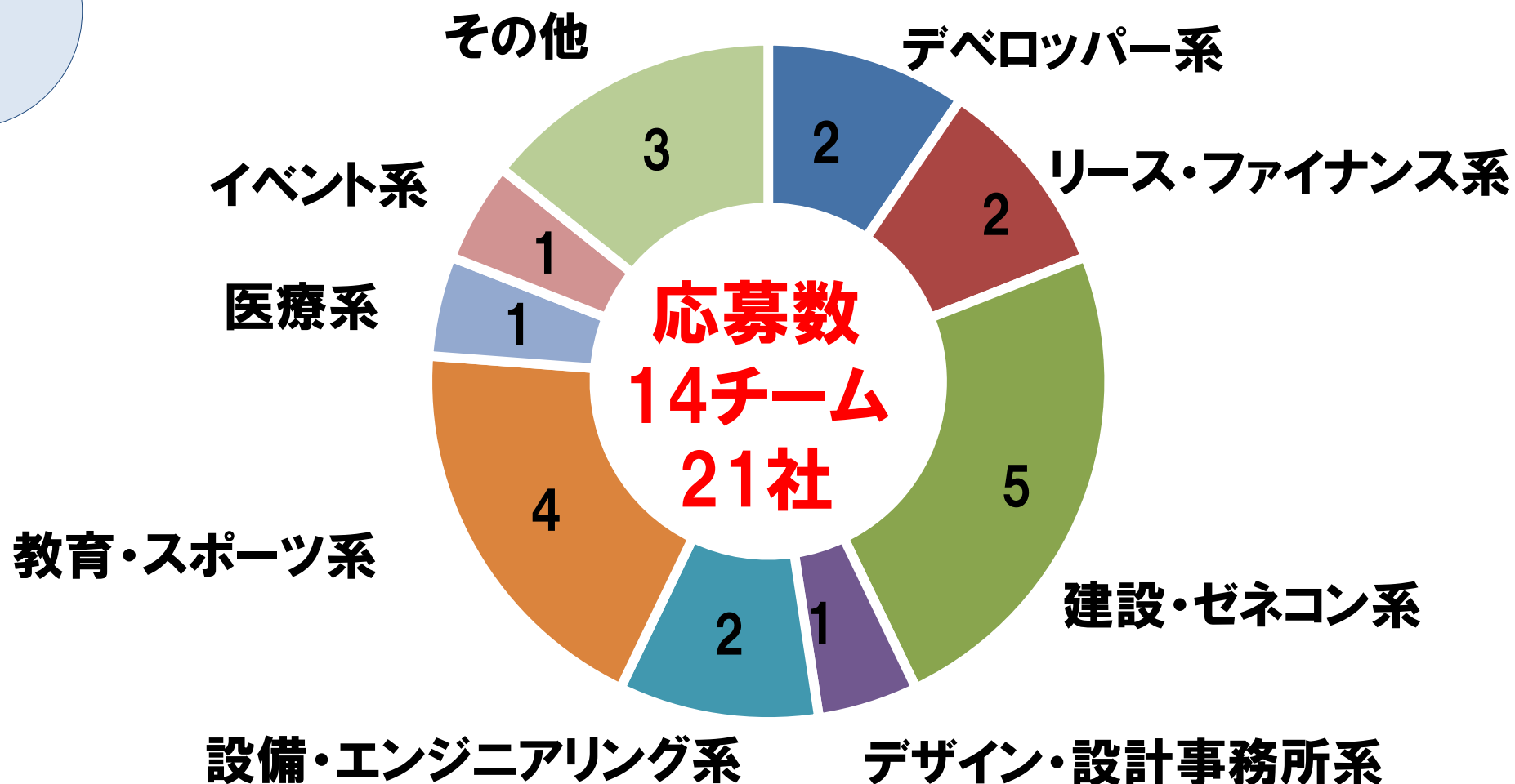
- **市内小学校からの力強いご支援**をいただけた
- **南魚沼市内の、多くの小学生にご応募**いただいた
- **子供たちの、地域への関心と想い**を顕在化できた

市民の皆様から「**具体的**」で「**柔軟**」な**アイデア**が集まり、
地域に根差した**生き活き**とした**プロジェクト**
実現のための「**知恵袋**」を得る事ができました

応募結果の概要

B: 事業づくり部門

応募者属性

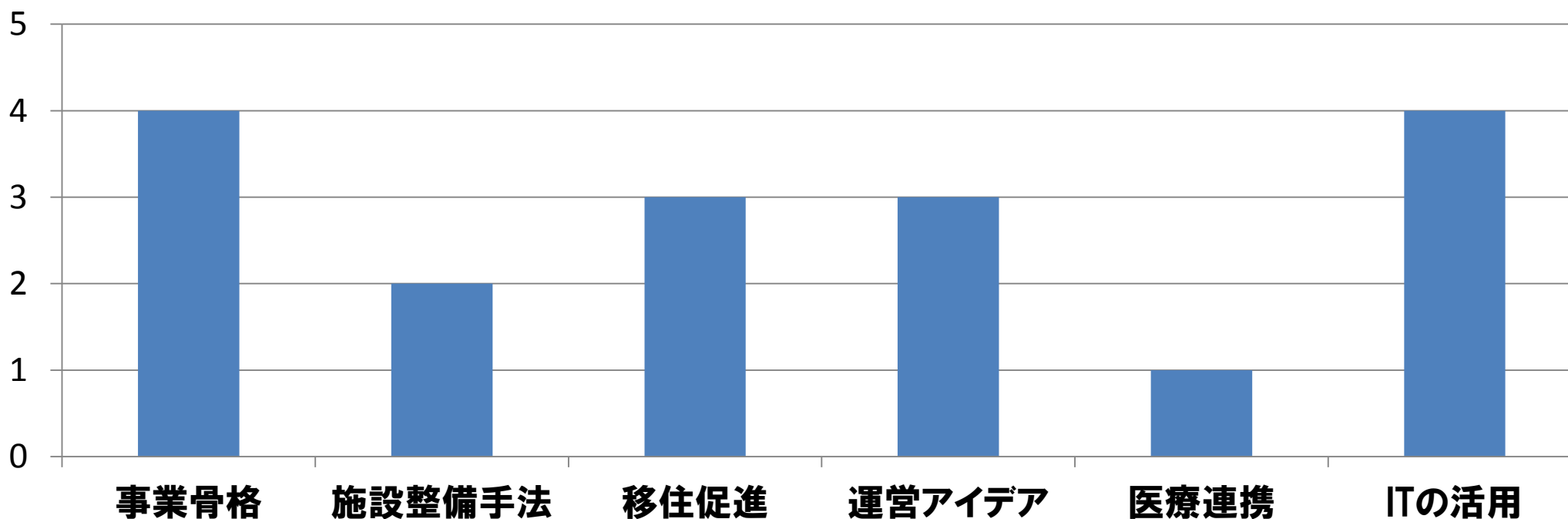


応募結果の概要

B: 事業づくり部門

提案の傾向

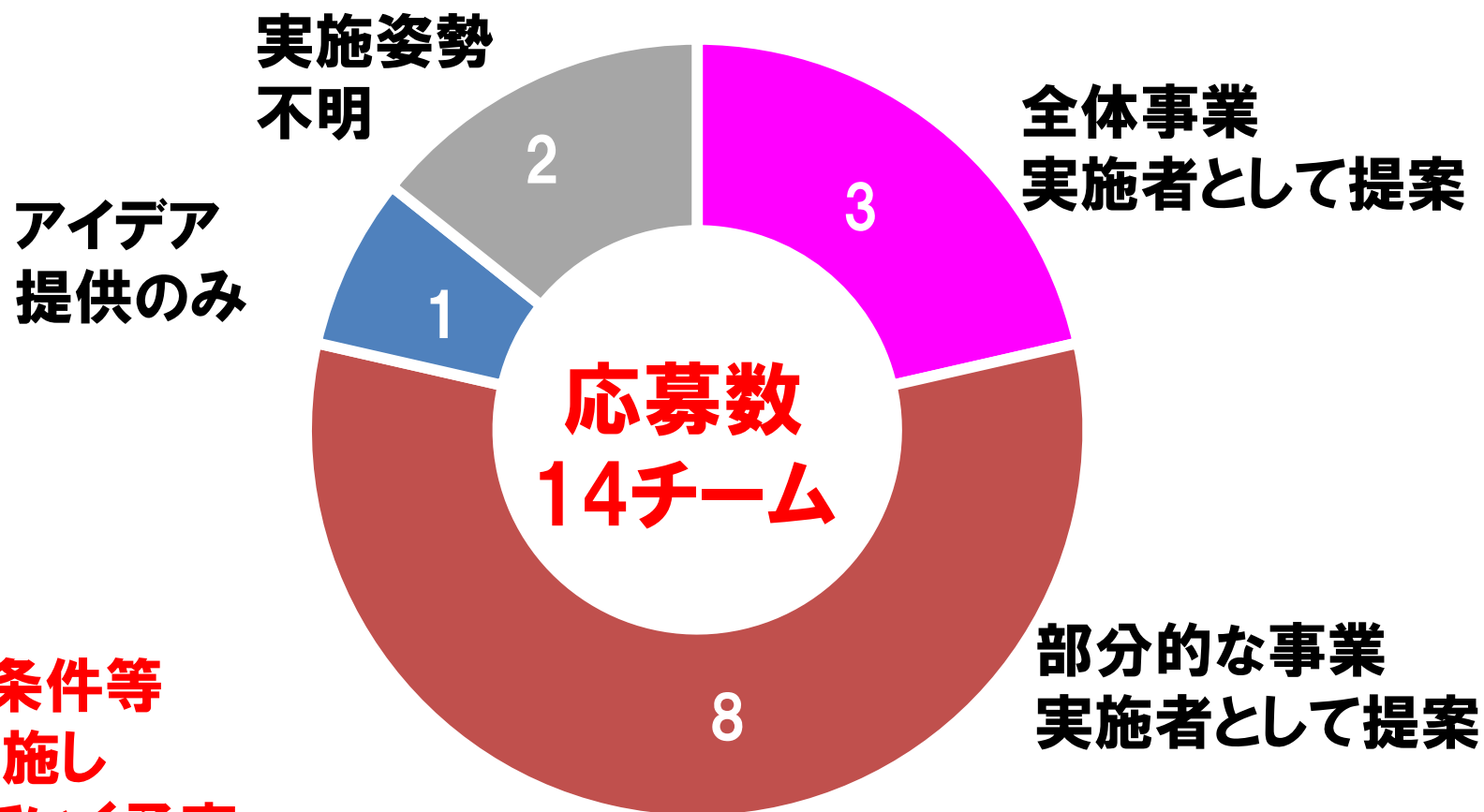
複数の分野またがる提案は両方でカウント



応募結果の概要

B: 事業づくり部門

提案姿勢



今後、
詳細、実施の条件等
ヒアリングを実施し
より明確化していく予定

●民間企業の知恵と提案を集める事ができた

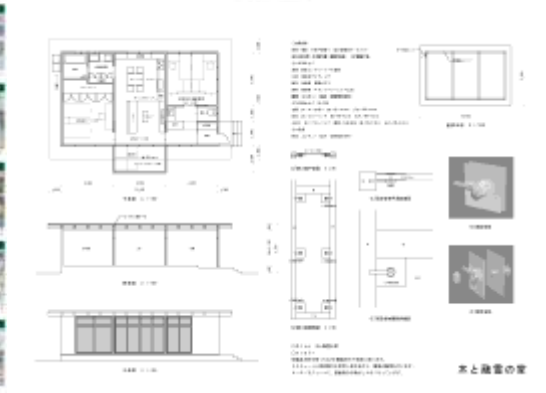
「自立した事業」としてのCCRCの実現に向け、

民間、企業の知恵を集め、活かす

新しい官民連携(=官民協創)の基盤が見えてきた

C:まちづくり部門

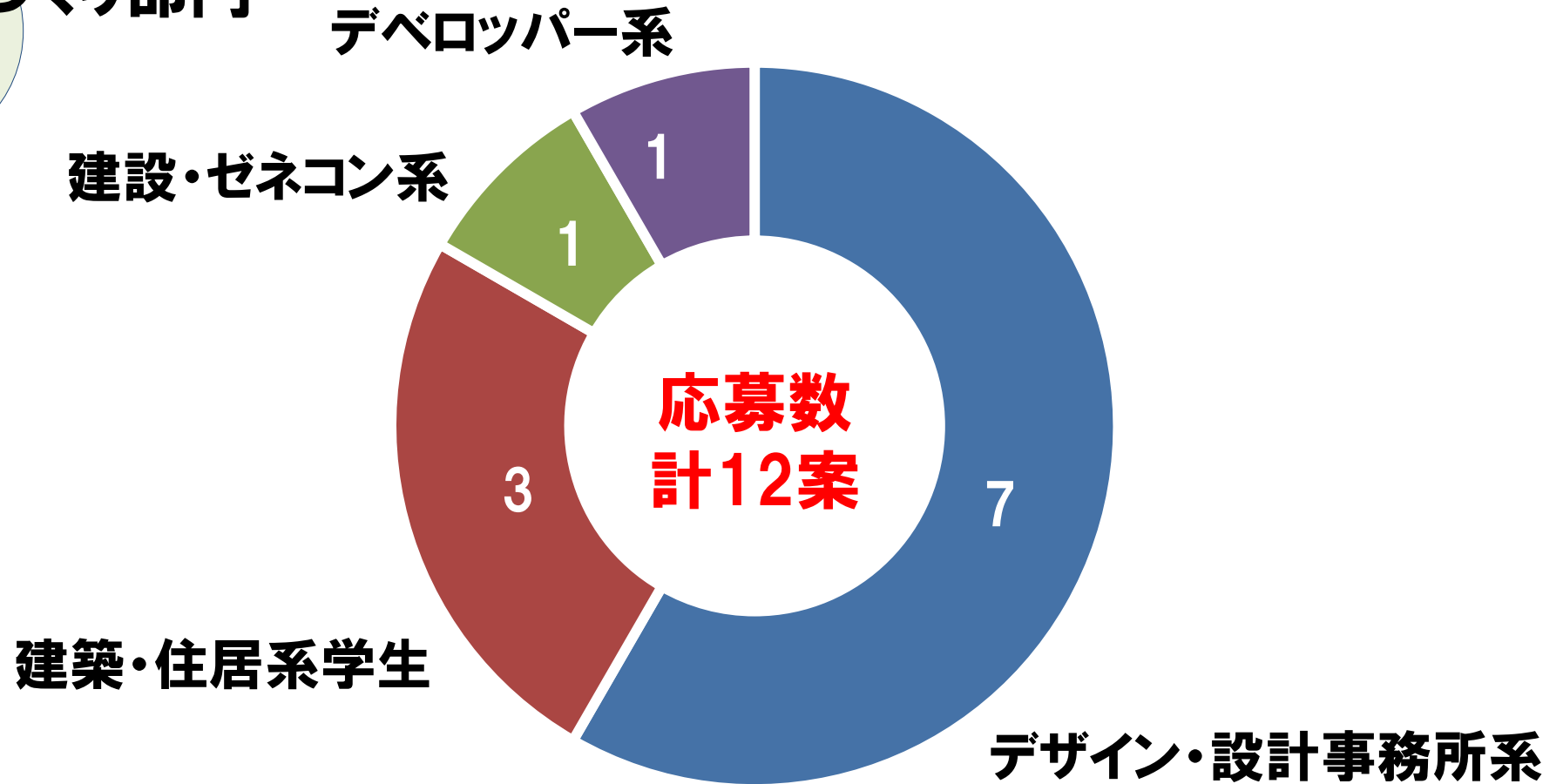
12 案



応募結果の概要

C:まちづくり部門

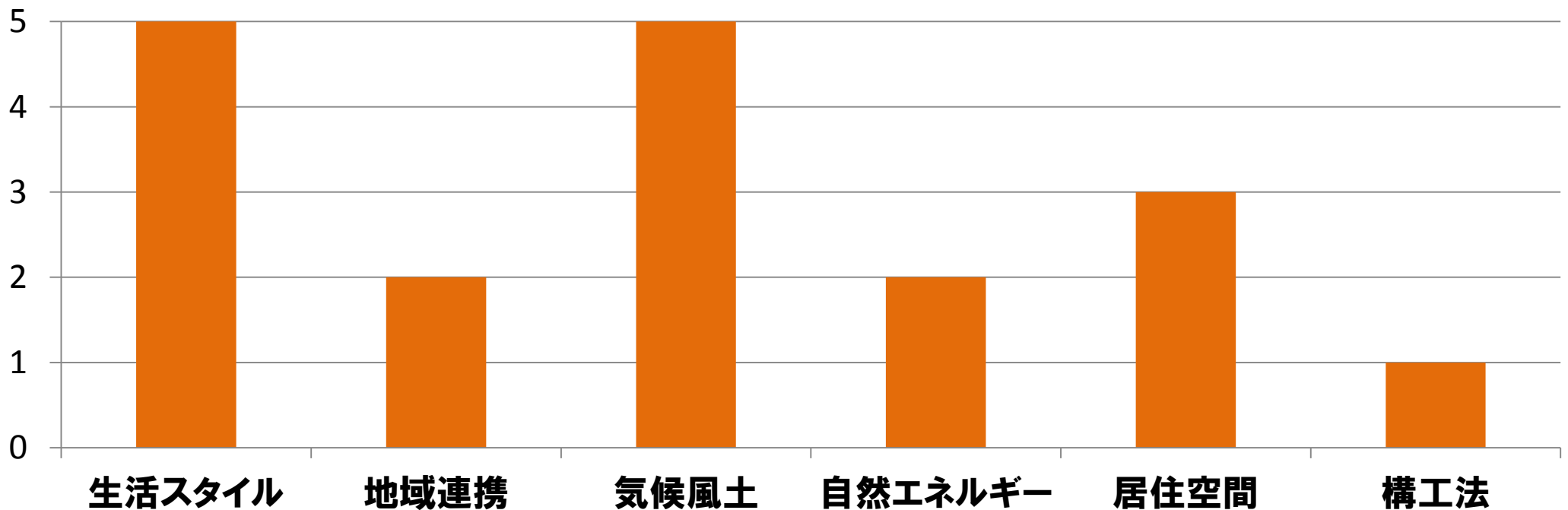
応募者属性



応募結果の概要

C:まちづくり部門

提案の傾向(主な着目点)
複数の分野またがる提案は両方でカウント



- 南魚沼のプロジェクトへの高い参加意欲が喚起された
- 魅力的で、具体的な施設アイデアを提案いただけた
- ハイレベルで先端的な検討をしていただけた

今後、事業性の向上に向け、
ソフト、ハードの両面をすり合わせていく

審査の方法（予定）

A: 夢づくり部門

応募案の整理

B: 事業づくり、C: まちづくり部門

応募案の整理・予備審査

実施しない場合
ヒアリングを

必要により
ヒアリング

市の事業方針との
すり合わせ

ヒアリング・予備審査結果まとめ

10/31 審査員による審査

入賞者選定

街づくりの
知恵袋に...

知恵の注入

連携実施事業者候補者選定

南魚沼市
運営事務局と
応募者との間で
ヒアリング
必要により複数回

審査委員会

事業検討パートナー
グループの組成

今後の予定

審査会開催日

2016年10月31日(月) 13:30～

審査委員会名簿

- 審査委員長 : 清水 明 (南魚沼市総務部 部参事 地方創生特命部長)
- 審査員 : 門山 好和 (大和商工会メディカルタウン研究委員会 委員長)
- 審査員 : 熊倉 浩靖 (群馬県立女子大学 教授)
- 審査員 : 篠田 文治 (国際大学 事務局長)
- 審査員 : 田中 純太 (新潟大学大学院医歯学総合研究科健康増進医学講座 特任准教授)

結果発表(予定)

2016年11月

募集後の流れ

	2016年度		2017年度				2018年度				2019年度			
	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月
事業 検討	事業計画 検討													
募集		入居者 募集				入居者 募集					入居者 募集			
建設			1期 建設				2期 建設					3期 建設		
運営			運営											

※状況により、スケジュールが変わる場合があります。